

事業計画書

2023年度(令和5年度)

2023年4月1日~2024年3月31日

社会福祉法人大原野児童福祉会
大原野こども園

1. 基本方針

幼保連携型認定こども園教育、保育要領を基に計画を立て実施する。

新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、子どもたちには手洗いの指導・消毒の徹底、職員は園内の清掃及び消毒を徹底し、園内の衛生管理に努める。また園外活動においても安全面を第一に考え、事故や怪我を防ぐため、社会の状況に合わせマニュアルを更新していく。事業運営の中で、重要性の高いものから段階的に取り組み、無理なくレベルアップを目指す。職員は、スキルアップのためキャリアアップ研修を受講し各分野の学びを深め、専門性を高めていく。

地域ニーズに応じた関わりを引き続き行い、より良い子育ての環境づくりに努める。また、京都市外の向日市や長岡京市からも園児が通うため、各行政区の担当とも情報共有できる体制を整える。

2. 保育目標

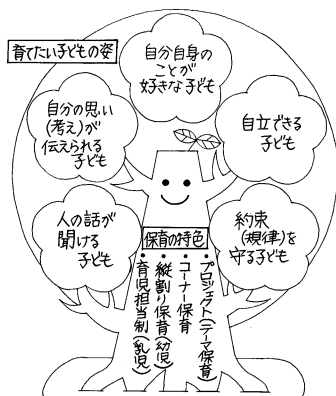
- ① 自分自身のことが好きな子ども
- ② 自分の思い(考え)が伝えられる子ども
- ③ 人の話が聞ける子ども
- ④ 自立できる子ども
- ⑤ 約束(規律)を守る子ども

3. 保育方針

「真っ白な子どもたちが20歳になった時、どんな大人になって欲しいのか？」

「子どもたちがより良い人生を送る為には、どのような働きかけが必要なのか？」

と考えた時、私たちはこのような事を保育の中で大切にしています。



きれいな花を咲かせようとするならば、それを可能とする根をはらなければなりません。

保育の特色の根源をしっかりと、一人ひとりの花をきれいに育てたいと思います。

保育の特色

(育児担当制：乳児)

乳児クラスでは担当制を導入しています。一人の担当が数名の子どもを1年間担当し、一人ひとりの子どもと丁寧に関わるように取り組んでいます。お子様の生活パターンや月齢などを配慮して担当グループを分けますが、それぞれの担当が担当以外の子どもを見ないわけではありません。より深く担当の子どもの気持ちを理解したうえで、連携を取りながら良い保育環境に導きます。この取り組みにより、お子様との信頼関係がぐっと深いものになります。

(縦割り保育：幼児)

3・4・5歳の異年齢の子どもたちが、同じ保育室で生活や遊びをしながら共に過ごしています。

(コーナー保育)

いくつかの遊びをコーナーごとに設け自己選択・自己決定をしながら遊びたい活動に取り組み自主性を育てています。

4. 保育活動

① 保育園の運営

・所在地：京都市西京区大原野上羽町 318

・大原野こども園 児童数(定員：144名 令和5年4月1日)

【2・3号】0歳児：4名、1歳児 15名、2歳児 17名、3歳児 29名、

4歳児 21名、5歳児 27名

【1号】 4名

計 113名

② 開所時間

短時間保育時間：8時30分～16時30分 9時～17時

標準保育時間： 7時～18時

延長保育： 18時～19時00分

③ 職員配置

園長 1名、副園長 1名、主観保育教諭 2名、保育教諭 30名、保育者 1名、

看護師 1名、管理栄養士 1名、栄養士 1名、調理員 1名、事務員 1名 計 40名

5. 保育内容

コロナ感染拡大防止のため、引き続き感染予防の取り組みを継続する。

保育活動全般に関して、乳児はゆるやかな育児担当制、幼児はピラミッドメソッド幼児教育法を取り入れた活動を充実させる。保育計画について、年間・月間・日案・個別・デイリープログラムなどを作成し、各種会議において、経過観察と必要に応じて、補正・調整を行い、子どもたちの実情にあった保育活動を計画的に実施する。そのためにも、引き続き教材準備や保育計画を立てるための時間(ノーコンタクトタイム)を確保し、豊かな保育活動に繋がるよう努めていく。

6. 園内研修

ピラミッドメソッド幼児教育法講師による園内研修を行い、保育の向上に努めます。幼稚園免許の取得と更新を計画的に進めていきます。

7. 園外研修

個人のスキル向上のため、積極的に園外研修を奨励していきます。キャリアパスに沿って新任・中堅・指導者研修を受講します。

8. 一時保育事業

1日1～3名のお子様をお預かりします。

9. 子育て支援事業

園庭開放や各種イベントを通じて、地域の未就園の親子に参加していただきます。

10. ホームページ

ホームページを通じて子どもたちの写真や動画配信を提供、メール配信により京都府警や京都市からのお知らせや感染症の予防連絡に役立てます。また、園だより・クラスだより・お知らせ類を配布せず、ホームページ上の保護者ページより見ていただく。

<https://kodomoen.ooharano.com/>

11. 個人評価制度

職員の賞与支払い時に評価制度を利用して一部査定を行います。個々のやる気を引き出すための制度につなげていきたいと考えています。

12. 保護者支援

① 日常における支援

日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助する。また、匿名で要望内容等を連絡できるよう、玄関に意見箱を設置する。

② 個人懇談・クラス懇談・保育参加

子育ての悩みを共有化し、クラス運営の内容を伝え理解してもらえる場として設けている。また、保育参加では保護者に日々の活動を少しでも理解していただけるよう実施している。

③ 外部機関との運営

発達支援や育児不安などにより、専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助する。

④ 地域支援活動

未就園児、異年齢児交流事業、世代間交流事業など、地域交流事業に取り組み、地域全体であんしん・あんげんに子育てができるよう活動する。また、小学校、児童館、高齢者施設等との交流を図る。地域の園や児童館との交流を図るため、キッズやまのもと・基幹ステーションなど広報活動を充実し、地域支援の積極的活動を行う。

13. 保健衛生

- ・乳児健康診断…年2回　・幼児健康診断…年2回　身体測定年12回
- ・歯科検診…2歳児以上年1回
- ・職員健康診断年1回（付加検診の奨励と、費用負担）
- ・職員インフルエンザ予防接種年1回
- ・調理検便年12回　職員検便年1回

14. 防災安全

- ・避難訓練年12回　・消火訓練年12回
- ・不審者、洪水、水害、土砂災害訓練…年1回
- ・防火設備等の保守点検　・自主点検　・非常用飲料水、食糧の確保、点検

15. 給食

- ・0～5歳児　昼食、おやつ
- ・離乳食、アレルギー食
- ・食育活動（クッキング、栽培、マナーなど）

16. 年間行事

- ・別紙参照（年間行事予定表）

17. 園の組織

- ・園長：園経営と園運営の責任と保育活動における総括指揮
- ・副園長：保護者支援、地域支援活動の運営、園行事の運営
- ・主観保育教諭：保護者支援、園行事の運営、各クラスの全体調整
- ・チーフ：乳児・幼児・キッチンの各クラス内の調整、園行事の運営補助
- ・保育士：クラス別担任制配置、行事担当、発達記録等の作成

18. 年間会議予定

- ・職員会議：月2回程度　・幼児、乳児会議：月1回程度　・食育会議：月1回程度
- ・チーフ会議、行事担当会議、担当係会議など
- ・保護者会、保護者説明会、個人懇談、家庭訪問（新入園児のみ）・保育参加
- ・法人理事会・法人園長会、主任会、キッチン
- ・南区園長会、主任会

19. 職員育成

- ・京都市保育士会　・南区保育内容研究会　・京都市主催の研修
- ・外部の講師による研修　・キャリアアップ　・その他必要に応じ外部研修に参加

20. 職員福利厚生

- ・福祉医療機構退職金共済加入
- ・京都府民間社会福祉施設職員共済会加入
- ・職員処遇改善費の支給

21. 施設設備計画

- ・防災設備、備品の確保
- ・園の周りの植栽整備
- ・園舎の定期清掃、美化

22. 資金計画

- ・2023年度予算書参照。

4月	新入園児さんの慣らし保育（1週間程度） 新入園児歓迎会 4月22日 創立記念日（通常保育） クラス交流会さくら（4/20㊦）
5月	クラス交流会ばら（5/25㊦） クラス交流会にじ1（5/31㊦） クラス交流会にじ3（5/26㊦） 交流会時間 13：30～14：30（おやつを試食あり） ポニー動物園（移動動物園）
6月	内科検診 クラス交流会たんぽぽ（6/1㊦） クラス交流会にじ2（6/2㊦）
7月	プール開き プラネタリウム見学（さくら）
8月	8月14日㊦～16日㊦お盆保育（家庭保育協力日：お弁当持参） プール（にじ）
9月	9月1日㊦お楽しみ保育（さくら） 消防車見学 クラス交流会つくし（9/14㊦） 個人懇談（就学前検診）さくら～10月にかけて
10月	10月7日㊦ 運動会（予備日14日㊦：にじ） サッカー交流試合（さくら：城陽グラウンド）
11月	フェスタ大原野おうた会LIVE（もも・さくら） SLフェスタ（さくら） 内科検診 ・ 歯科検診 サッカー大会（さくら：11/28(火)～30(木)のいずれか）
12月	12月16日㊦音楽発表会（にじ） クリスマス会 おもちつきごっこ 12/21㊦ 12月28日㊦（保育納め）
1月	12月29日㊦～1月3日㊦ お正月休み 1月4日㊦保育始め クラス交流会つくし（1/18㊦） クラス交流会たんぽぽ（1/19㊦） クラス交流会ばら（1/24㊦） クラス交流会ゆり（1/25㊦） クラス交流会もも（1/26㊦） 交流会時間 15：30～16：30
2月	豆まきごっこ

3月	<p>3月9日(土) 入園説明会(新年度入園児対象)</p> <p>お別れ会 遠足(ゆり・もも・さくら:お弁当)</p> <p>3月23日(土) 卒園式(さくら) 3月30日(土)保育最終日</p>
	<p>令和6年4月1日(月)~4月3日(水) 春期保育(家庭保育協力日:お弁当持参)</p> <p>※送迎バスについては、車検のため4月8日(月)より運行予定となります。</p>

事業計画書

2023年度(令和5年度)

2023年4月1日~2024年3月31日

社会福祉法人大原野児童福祉会
山ノ本こども園

1. 基本方針

幼保連携型認定こども園教育、保育要領を基に計画を立て実施する。

新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、子どもたちには手洗いの指導・消毒の徹底、職員は園内の清掃及び消毒を徹底し、園内の衛生管理に努める。また園外活動においても安全面を第一に考え、事故や怪我を防ぐため、社会の状況に合わせマニュアルを更新していく。事業運営の中で、重要性の高いものから段階的に取り組み、無理なくレベルアップを目指す。職員は、スキルアップのためキャリアアップ研修を受講し各分野の学びを深め、専門性を高めていく。

若年層や低階層世帯が多い地域であるため、ニーズに応じた関わりを引き続き行い、より良い子育ての環境づくりに努める。また、南区だけでなく、伏見区、西京区からも園児が通うため、各区の担当とも情報共有できる体制を整える。

2. 保育目標

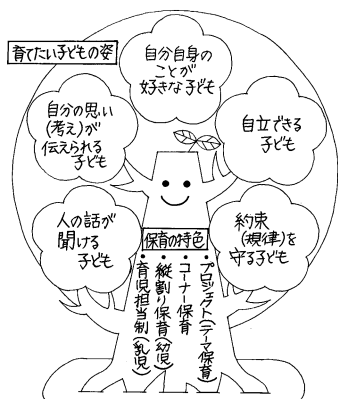
- ① 自分自身のことが好きな子ども
- ② 自分の思い(考え)が伝えられる子ども
- ③ 人の話が聞ける子ども
- ④ 自立できる子ども
- ⑤ 約束(規律)を守る子ども

3. 保育方針

「真っ白な子どもたちが20歳になった時、どんな大人になって欲しいのか？」

「子どもたちがより良い人生を送る為には、どのような働きかけが必要なのか？」

と考えた時、私たちはこのような事を保育の中で大切にしています。



きれいな花を咲かせようとするならば、それを可能とする根をはらなければなりません。

保育の特色の根源をしっかりと、一人ひとりの花をきれいに育てたいと思います。

保育の特色

(育児担当制：乳児)

乳児クラスでは担当制を導入しています。一人の担当が数名の子どもを1年間担当し、一人ひとりの子どもと丁寧に関わるように取り組んでいます。お子様の生活パターンや月齢などを配慮して担当グループを分けますが、それぞれの担当が担当以外の子どもを見ないわけではありません。より深く担当の子どもの気持ちを理解したうえで、連携を取りながら良い保育環境に導きます。この取り組みにより、お子様との信頼関係がぐっと深いものになります。

(縦割り保育：幼児)

3・4・5歳の異年齢の子どもたちが、同じ保育室で生活や遊びをしながら共に過ごしています。

(コーナー保育)

いくつかの遊びをコーナーごとに設け自己選択・自己決定をしながら遊びたい活動に取り組み自主性を育てています。

4. 保育活動

① 保育園の運営

- ・所在地：京都市南区上鳥羽山ノ本町61
- ・山ノ本こども園 児童数(定員：82名 令和5年4月1日予定)
【2・3号】0歳児：3名、1歳児14名、2歳児13名、3歳児11名、
4歳児11名、5歳児5名
【1号】 11名 計68名

② 開所時間

短時間保育時間：8時30分～16時30分 9時～17時
標準保育時間： 7時～18時
延長保育： 18時～19時00分

③ 職員配置

園長1名、副園長1名、主観保育教諭2名、保育教諭15名、保育士1名、
看護師1名、栄養士2名、調理員1名、事務員1名 計25名

5. 保育内容

0歳児クラスが定員みたく、また、昨年幼児クラスの引っ越しによる退園児が多く、年長児の人数が少ない新年度となる。引き続き教材準備や保育計画の検討の時間を確保し、豊かな保育活動に繋がるよう努めていく。保育活動全般に関して、乳児はゆるやかな育児担当制、幼児はピラミッドメソッド幼児教育法を取り入れた活動を充実させる。保育計画について、年間・月間・日案・個別・デイリープログラムなどを作成し、各種会議において、経過観察と必要に応じて、補正・調整を行い、子どもたちの実情にあった保育活動を計画的に実施する。そのためにも、引き続き教材準備や保育計画を立てるための時間(ノーコンタクトタイム)を確保し、豊かな保育活動に繋がるよう努めていく。

6. 園内研修

ピラミッドメソッド幼児教育法講師による園内研修を行い、保育の向上に努めます。

7. 園外研修

個人のスキル向上のため、積極的に園外研修を奨励していきます。キャリアパスに沿って新任・中堅・指導者研修を受講します。

8. 一時保育事業

1日1～3名のお子様をお預かりします。

9. 子育て支援事業

園庭開放や各種イベントを通じて、地域の未就園の親子に参加していただきます。

10. ホームページ

ホームページを通じて子どもたちの写真や動画配信を提供、メール配信により京都府警や京都市からのお知らせや感染症の予防連絡に役立てます。また、園だより・クラスだより・お知らせ類を配布せず、ホームページ上の保護者ページより見ていただく。

<https://yamanomoto.ooharano.com/>

11. 個人評価制度

職員の賞与支払い時に評価制度を利用して一部査定を行います。個々のやる気を引き出すための制度につなげていきたいと考えています。

12. 保護者支援

① 日常における支援

日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助する。また、匿名で要望内容等を連絡できるよう、玄関に意見箱を設置する。

② 個人懇談・クラス懇談・保育参加

子育ての悩みを共有化し、クラス運営の内容を伝え理解してもらえる場として設けている。また、保育参加では保護者に日々の活動を少しでも理解していただけるよう実施している。

③ 外部機関との運営

発達支援や育児不安などにより、専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助する。

④ 地域支援活動

未就園児、異年齢児交流事業、世代間交流事業など、地域交流事業に取り組み、地域全体であんしん・あんげんに子育てができるよう活動する。また、小学校、児童館、高齢者施設等との交流を図る。地域の園や児童館との交流を図るため、キッズやまのもと・基幹ステーションなど広報活動

を充実し、地域支援の積極的活動を行う。

13. 保健衛生

- ・乳児健康診断…年6回　・幼児健康診断…年2回　身体測定年12回
- ・耳鼻科、眼科検診、視力検査、尿検査…幼児のみ年1回
- ・歯科検診…2歳児以上年1回
- ・職員健康診断年1回（付加検診の奨励と、費用負担）
- ・職員インフルエンザ予防接種年1回
- ・調理検便年12回　職員検便年1回

14. 防災安全

- ・避難訓練年12回　・消火訓練年12回
- ・不審者、洪水、水害、土砂災害訓練…年1回
- ・防火設備等の保守点検　・自主点検　・非常用飲料水、食糧の確保、点検

15. 給食

- ・0～5歳児　昼食、おやつ　・離乳食、アレルギー食
- ・食育活動（クッキング、栽培、マナーなど）

16. 年間行事

- ・別紙参照（年間行事予定表）

17. 園の組織

- ・園長：園経営と園運営の責任と保育活動における総括指揮
- ・副園長：保護者支援、地域支援活動の運営、園行事の運営
- ・主観保育教諭：保護者支援、園行事の運営、各クラスの全体調整
- ・チーフ：乳児・幼児・キッチンの各クラス内の調整、園行事の運営補助
- ・保育士：クラス別担任制配置、行事担当、発達記録等の作成

18. 年間会議予定

- ・職員会議：月2回程度　・管理者会議：月1回　・幼児、乳児会議：月1回程度　・食育会議：月1回程度
- ・チーフ会議、行事担当会議、担当係会議など
- ・保護者会、個人懇談、家庭訪問（新入園児のみ）　・保育参加
- ・法人理事会　・法人園長会、法人キッチン、法人管理者
- ・南区園長会、主任会

19. 職員育成

- ・京都市保育士会　・南区保育内容研究会　・京都市主催の研修

- ・外部の講師による研修
- ・キャリアアップ
- ・その他必要に応じ外部研修に参加

20. 職員福利厚生

- ・福祉医療機構退職金共済加入
- ・京都府民間社会福祉施設職員共済会加入
- ・職員処遇改善費の支給

21. 施設設備計画

- ・防災設備、備品の確保
- ・園の周りの植栽整備
- ・園舎の定期清掃、美化

22. 資金計画

- ・2023年度予算書参照。

令和5年度年間行事予定

4月	7日(金)	幼児クラス懇談会	12月	5日(火)	プレ生活発表会2回目
	21日(金)	もも組(2歳)クラス懇談会		9日(土)	生活発表会
	28日(金)	つぼみ組(0歳)たんぼぼ組(1歳)クラス懇談会		25日(月)	クリスマス会
5月	2日(火)	こどもの日のつどい	1月	9日(火)	新春のつどい
	23日(火)	幼児春の遠足	2月	2日(金)	節分のつどい
6月	2日(金)	歯磨き指導		9日(金)	つぼみ組(0歳)たんぼぼ組(1歳)クラス懇談会
7月	4日(火)	プールびらき	3月	17日(土)	作品展
	7日(金)	七夕のつどい		22日(木)	もも組(2歳)クラス懇談会
	14日(金)	夏まつり(父母の会と共催)		1日(金)	ひなまつりのつどい
8月	29日(火)	プールじまい		1日(金)	幼児クラス懇談会 (にじ組・ほし組・つき組)
9月	上旬	消防車見学		5日(火)	年長おやつクッキング
	15日(金)	敬老のつどい		9日(土)	新入園児説明会
10月	3日(火)	プレ運動会1回目		15日(金)	お別れ会
	10日(火)	プレ運動会2回目		19日(火)	修了式総練習
	14日(土)	運動会 予備日…19日(木)		23日(土)	修了式
11月	2日(木)	年長児懇談会		29日(金)	新年度準備期間
	7日(火)	乳児遠足		30日(土)	新年度準備期間
	28日(火)	プレ生活発表会1回目			
※幼児・乳児の保育参加については、園児1人につき年1回保育参加を行います。 ※個人懇談 6月頃に行う予定です。 ※避難訓練…毎月実施 ※クッキングは、保育内で行います。 ※幼児秋の遠足は、決まり次第お伝えします。 ※炊き出しは、地域の方との避難訓練も兼ねて行う予定です。			※修了式記念写真撮影は2月頃の予定です。(年長児のみ) ※乳児健康診断…0.1.2歳(偶数月) ※幼児健康診断…5月・11月 ※耳鼻科・眼科検診…幼児のみ年1回 ※歯科検診…年1回2歳以上 ※尿検査…年1回 ※視力検査…幼児のみ年1回 ※お別れ遠足(年長のみ3月頃)		

事業計画書

2023年度(令和5年度)

2023年4月1日~2024年3月31日

社会福祉法人大原野児童福祉会 もずめこども園

1. 基本方針

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止策に重点を置いて衛生管理に努めたもののインフルエンザが大流行した。様々な感染症感染拡大防止策として、子ども達には手洗い・うがい(幼児)の指導を引き続き丁寧に行い、健康管理を徹底する。職員は園内の清掃及び消毒を徹底し衛生管理に努める。また園内外活動においても安全面を第一に考え、事故や怪我を防ぐため、ヒヤリハットをもとに、社会の状況にも合わせながらマニュアルを更新していく。開園5年目を迎え、職員全体で丁寧な関わり等の基本的な保育方法が理解できてきた。より具体的な保育内容について話し合い、園内研修・外部研修にて各職員が様々な分野の学びを深め、専門性を高めることでスキルアップしていくと共に、各々が責任をもってやるべきことを確実にやっていく。

駅近くの開発により、人口が増え続けているため、待機児童がいる家庭や未就園児がいる家庭に向けて一時保育や子育て支援に力を入れる他、地域のニーズに応じた関わりを引き続き行い、より良い子育ての環境づくりに努める。

2. 保育目標

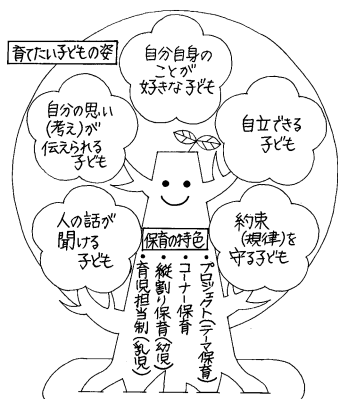
- ① 自分自身のことが好きな子ども
- ② 自分の思い(考え)が伝えられる子ども
- ③ 人の話が聞ける子ども
- ④ 自立できる子ども
- ⑤ 約束(規律)を守る子ども

3. 保育方針

「真っ白な子どもたちが20歳になった時、どんな大人になって欲しいのか？」

「子どもたちがより良い人生を送る為には、どのような働きかけが必要なのか？」

と考えた時、私たちはこのような事を保育の中で大切にしています。



きれいな花を咲かせようとするならば、それを可能とする根をはらなければなりません。

保育の特色の根源をしっかりと、一人ひとりの花をきれいに育てたいと思います。

4. 保育の特色

- ① 育児担当制（乳児）…乳児クラスでは担当制を導入しています。一人の担任が数名の子どもを1年間担当し、一人ひとりの子どもと丁寧に関わるように取り組んでいます。お子様の生活パターンや月齢などを配慮して担当グループを分けますが、それぞれの担任が担当以外の子どもを見ないわけではありません。より深く担当の子どもの気持ちを理解したうえで、連携を取りながら良い保育環境に導きます。この取り組みにより、お子様との信頼関係がぐっと深いものになります。
- ② コーナー保育…いくつかの遊びをコーナーごとに設け自己選択・自己決定をしながら遊びたい活動に取り組む自主性を育てています。
- ③ リズム…『心と身体の主人公』になるために全身運動の保障・豊かな感覚を育むために楽しく動くことを大切に、発達年齢に合ったリズム遊びに取り組めます。

5. 保育活動

① 保育園の運営

・所在地：京都府向日市物集女町南条 65

・もずめこども園 児童数（定員：155名）

【2・3号】0歳児：12名、1歳児24名、2歳児24名、
3歳児30名、4歳児30名、5歳児30名

【1号】 5名

計 155名

② 開園時間

短時間保育時間：8時00分～16時00分

標準保育時間：7時00分～18時00分

延長保育：18時00分～20時00分(令和4年度新入園児より18時00分～19時00分)

③ 職員配置

園長1名、副園長1名、主幹保育教諭2名、保育教諭22名、保育士2名、

保育者8名、栄養士2名、調理員3名、看護師1名 計42名

6. 保育内容・保育環境

幼児保育室の音環境を改善するため令和3年度中に壁設置工事をし、落ち着いた保育環境に近づいたものの音の反響により相手の声が聞き取りにくい環境には変わりなかったが、職員の声の掛け方やおもちゃの設置により少しずつ改善されてきたように思う。今年度は人的環境の整え方を学びより一層心地の良い環境作りを行う。保育活動全般に関して、乳児はゆるやかな育児担当制、幼児は公立からの保育を引き継ぎつつ、自主性を育てるほいくを行う。園児数は増えても集団で動かすようなことが無いように丁寧な保育を心掛ける。

保育計画について令和4年度の反省を基に様式の見直しを行った。新しい様式を使用し、年間・月間・週案・日案・個別月案・デイリープログラムなどを作成し、各種会議において経過観察と、必要に応じて補正・調整を行い、子ども達の実情にあった保育活動を計画的に実施する。そのためにも、引き続き教材準備や保育計画を立てるためのノンコンタクトタイムを確保し、豊かな保育活動に繋が

るよう努めていく。

7. 園内研修

ピラミッドメソッド幼児教育法 講師による園内研修を行い、保育の向上に努めます。幼稚園免許の取得と更新を計画的に進めていきます。

8. 園外研修

個人のスキル向上のため、積極的に園外研修を奨励していきます。キャリアパスに沿って新任・中堅・指導者研修を受講します。

9. 一時保育事業

1日3～5名のお子様をお預かりします。

10. 子育て支援事業

年間24回程度、木曜日にわくわくランドを実施。もずめクラブを保育室として使用する他、園庭開放や各種イベントを通じて、地域の未就園の親子に参加していただきます。

11. ホームページ

ホームページを通じて園での様子を広報する。子ども達の写真や季節や文化を感じられるような取り組みの紹介及び情報提供。

メール配信により京都府警や向日市からのお知らせや感染症の予防連絡に役立てます。

<https://mozume.ooharano.com/>

ブログを通して広く保育内容を知っていただけるように努める。

12. 個人評価制度

職員の賞与支払い時に評価制度を利用して一部査定を行います。個々のやる気を引き出すための制度につなげていきたいと考えています。

13. 保護者支援

① 日常における支援

日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助する。また、匿名で要望内容等を連絡できるよう、玄関に意見箱を設置する。

② 個人懇談・クラス懇談・保育参加

子育ての悩みを共有化し、クラス運営の内容を伝え理解してもらえる場として設けている。また、保育参加では保護者に日々の活動を少しでも理解していただけるよう実施している。

③ 外部機関との運営

発達支援や育児不安などにより、専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助する。

④ 地域支援活動

未就園児、提携小規模園、小学校、学童保育・高齢者との交流事業に取り組み、地域全体であんしん・あんげんに子育てができるよう活動する。
わくわくランドを地域の方に知ってもらうため広報活動を充実し、地域支援の積極的活動を行う。

14. 保健衛生

- ・身体測定…年12回 ・内科検診…年2回(5月・11月)
- ・眼科検診…年2回(6月) ・視力検査…幼児のみ年1回(9月)
- ・尿検査…年2回(6月・12月) ・歯科検診…年2回(6月・11月)
- ・職員健康診断…年1回(付加検診の奨励と、費用負担)
- ・職員インフルエンザ予防接種年1回 ・調理検便年12回 職員検便年1回

15. 防災安全

- ・避難訓練年12回 ・消火訓練年8回 ・2向小との合同訓練
- ・不審者、洪水、土砂災害・午睡明け訓練…年1回
- ・防火設備等の保守点検 ・自主点検 ・非常用飲料水、食糧の確保、点検

16. 給食

- ・0～5歳児 昼食、おやつ、離乳食、アレルギー食
- ・食育活動(クッキング、栽培、マナーなど)

17. 園の組織

- ・園長：園経営と園運営の責任と保育活動における総括指揮
- ・副園長：保護者支援、地域支援活動の運営、園行事の運営
- ・主幹保育教諭：保護者支援、園行事の運営、各クラスの全体調整
- ・チーフ：乳児・幼児・キッチンの各クラス内の調整、園行事の運営補助
- ・保育教諭・保育士：クラス別担任制配置、行事担当、発達記録等の作成

18. 年間会議予定

- ・職員会議：月2回程度 ・幼児会議、乳児会議：月1回程度
- ・キッチン会議：月1回程度 ・リスクマネジメント委員会：2か月に1回程度
- ・チーフ会議、行事担当会議、担当係会議など：必要に応じて適宜
- ・保護者説明会、個人懇談、・保育参加
- ・法人理事会・法人園長会、就学前児部会、看護師部会、障害児部会 ・向日市園長会

19. 職員育成

- ・京都府主催の研修 ・外部の講師による研修 ・キャリアアップ
- ・その他必要に応じ外部研修に参加

20. 職員福利厚生

- ・福祉医療機構退職金共済加入 ・京都府民間社会福祉施設職員共済会加入

- ・職員処遇改善費の支給

21. 施設設備計画

- ・防災設備、備品の確保
- ・園の周りの植栽整備
- ・園舎の定期清掃、美化

22. 資金計画

- ・2023 年度予算書参照。

23. 年間行事

月	行事予定	保健関係
4月	14(金) 入園進級お祝いの会	
	19(水) お誕生日会	
	25(火) こぐま組お弁当の日	
	26(水) きりん組お弁当の日	
	27(木) らいおん組お弁当の日	
5月	2(火) こどもの日の集い	未定 内科検診13:30-(大藪大枝クリニック)
	16(火) お誕生日会	
	22(月) 【※】こぐま組クラス懇談会(午後)	
	24(水) 【※】きりん組クラス懇談会(午後)	
	26(金) 【※】らいおん組クラス懇談会(午後)	
	31(水) 【※】ひよこ組クラス懇談会(午後)	
6月	1(木) 温水シャワー開始	5(月) 尿検査
	1(木) 【※】りす組クラス懇談会(午後)	6(火) 未定
	2(金) 【※】うさぎ組クラス懇談会(午後)	未定 歯科検診13:00-(小笹歯科医院)
	14(水) お誕生日会	未定 眼科検診9:30-(丸尾眼科医院)
	未定 歯磨き指導	未定 きりん組・らいおん組歯磨き教室
	未定 らいおん組天文館ープラネタリウムー	
7月	7(金) 七夕の集い	
	12(水) お誕生日会	
	18(火) プール開き	
	未定 らいおん組平和の折り鶴 贈呈式	
8月	14(月)15(火)16(水)お盆保育:申し込み制・お弁当持参 ※1号認定児休園	
	23(水) お誕生日会	
	31(木) プールじまい	
9月	20(水) お誕生日会	1(金) らいおん視力検査
	29(金) お月見会	
	未定 交通安全教室	
10月	7(土) 【※】運動会こぐま組・きりん組・らいおん組	
	11(水) お誕生日会	
	13(金) 消防車見学(避難訓練)	
	順次 【※】個人懇談	
11月	15(水) お誕生日会	30(木) 幼児全クラス手洗い教室
	未定 こぐまバス組遠足	未定 内科検診13:30-(大藪大枝クリニック)
	未定 きりん組バス遠足	
	未定 らいおん組芋ほりバス遠足	
12月	13(水) お誕生日会	4(月) 尿検査
	25(月) クリスマス会	5(火) 未定
	27(水) おもちつき	未定 歯科検診13:00-(小笹歯科医院)
	28(木)年末保育:申し込み制・お弁当持参 ※1号認定児休園	
1月	4(木)年始保育:申し込み制・お弁当持参 ※1号認定児休園	
	17(水) お誕生日会	
	23(火) 【※】うさぎ組リズム参観・クラス懇談会(午前中)	
	24(水) 【※】こぐま組リズム参観・クラス懇談会(午前中)	
	25(木) 【※】きりん組リズム参観・クラス懇談会(午前中)	
	26(金) 【※】らいおん組リズム参観・クラス懇談会(午前中)	
	未定 らいおん組就学前児童交通安全教室	
2月	2(金) 節分の集い	20(月) きりん組視力測定
	7(水) お誕生日会	21(火) こぐま組視力測定
	13(火) 予備日【※】うさぎ組リズム参観・クラス懇談会(午前中)	●年度当初の予定の為、日程などが変更になる可能性がありますのでご了承ください。 ●保護者参加行事には【※】印が付いています。 ●6月~12月保護者の「保育参加」を行います。詳細は園だよりでお知らせいたします。 ●毎月、身体測定・避難訓練を行います。 ※玄関付近に AED を設置しています。 ●諸検査はお子様の健康管理のために、必ず受けてください。 ●定期的に職員研修を行っています。 ●1歳9か月健診・3歳6か月健診前には個人懇談を実施します。
	14(水) 予備日【※】こぐま組リズム参観・クラス懇談会(午前中)	
	15(木) 予備日【※】きりん組リズム参観・クラス懇談会(午前中)	
	16(金) 予備日【※】らいおん組リズム参観・クラス懇談会(午前中)	
	26(月) 【※】ひよこ組クラス懇談会(午後)	
27(火) 【※】りす組クラス懇談会(午後)		
3月	1(金) ひな祭りの集い	
	6(水) お誕生日会	
	9(土) お招き会(入園説明会)【家庭保育協力日】	
	未定 こぐま組遠足	
	未定 きりん組遠足	
	未定 らいおん組バス遠足	
	21(木) お別れ会	
23(土) 【※】らいおん組卒園式 ◎保育環境変更日【家庭保育協力日】		
25(月) 保育室引っ越し(この日より1学年上のクラスの保育室で過ごします)		

事業計画

2023年度(令和5年度)

2023年4月1日~2024年3月31日

社会福祉法人大原野児童福祉会

もずめクラブ(学童保育)

1. 基本方針

交通について学び、安全に下校する。

家庭的な雰囲気の中、児童の自主性を尊重し、自分で考えて自分で決められながら生活できる環境を、放課後を中心に生活する。

新型コロナウイルスの感染拡大防止策だけでなく様々な感染症を防止するために、児童には手洗い・うがいの指導を引き続き丁寧に行い、健康管理を徹底する。職員は園内の清掃及び消毒を徹底し衛生管理に努める。

園外活動においても安全面を第一に考え、事故や怪我を防ぐため、社会の状況に合わせてマニュアルを更新していく。

園内研修で全職員が同じ研修を受けることで職員が同じ方向に向かって保育を行い、外部研修にて各職員が様々な分野の学びを深め、専門性を高めることでスキルアップしていく。

2. 活動

① 児童定員数:40名(令和5年4月1日時点40名)

② 職員配置

支援員2名、補助2名、運転手1名 計5名

③ 開園時間

休校日保育時間 : 8時00分~18時00分

延長保育時間 : 18時00分~19時00分

3. 保育目標

- ① 自分自身のことが好きな子ども
- ② 自分の思い(考え)が伝えられる子ども
- ③ 人の話が聞ける子ども
- ④ 自立できる子ども
- ⑤ 約束(規律)を守る子ども

4. 保育方針

「真っ白な子どもたちが大人になった時、どんな大人になって欲しいのか？」

「子どもたちがより良い人生を送る為には、どのような働きかけが必要なのか？」

と考えた時、私たちはこのような事を保育の中で大切にしています。

きれいな花を咲かせようとするならば、それを可能とする根をはらなければなりません。

保育の特色の根源をしっかりと、一人ひとりの花をきれいに育てたいと思います。

5. 特色

- ① 学校の延長のような集団の場ではなく、あくまでも家に帰ってから過ごしているような家庭的な環境
- ② 学校休業日の給食の提供および、手作りおやつを提供。
- ③ プログラムの実施

通常プログラム(1~3年生)には専任講師が指導します。プログラム表記はありませんが、パソコン・算数・国語はもずめクラブのテキスト(6年生まで)で、個別に取り組みます。

	プログラム	教材提供
月曜日	体育・運動プログラム①	リーベ運動遊び
水曜日	運動プログラム②	コスモスポーツクラブ
木曜日	英語プログラム	ECC

- ・上記の他、パソコン・算国学習プリントも用意していますが、自由時間を使って各自が自主的に取り組むスタイルとなります。
- ・各プログラムは、隔週毎に2グループに分けて取り組みます。
- ・土曜日と4年生以上のプログラムは、ありません。

6. 1日の流れ

平日の流れ

時間	活動内容
15:00	おやつ 宿題(自主学習) 自由あそび
16:00	隔週毎に、曜日ごとのプログラムと宿題(自主学習)・自由あそびの2グループに分かれて活動
17:00	自由あそび・順次帰宅
18:00	1時間延長開始 夕方のおやつ・自由あそび(もずめこども園で合同保育)
19:00	1時間延長帰宅

土曜日・小学校振替日及び長期休業日の流れ

時間	活動内容
8:00	順次登校(※9:30までに登園) 自由あそび 宿題・自主学習 朝の活動
12:00	お昼ご飯 自由あそび (※夏季期間は午睡導入日もあり)
15:00	おやつ・自由あそび
16:00	隔週毎に、曜日ごとのプログラムと宿題(自主学習)・自由あそびの2グループに分かれて活動 ※土曜日のプログラムはありません
17:00	自由あそび・順次帰宅
18:00	順次帰宅 1時間延長開始 夕方のおやつ・自由あそび(もずめこども園で合同保育)
19:00	1時間延長帰宅

--	--

7. 年間行事

4月	歓迎会
7月	プール(長期休業期間:小学校夏休み期間)
8月	プール(長期休業期間:小学校夏休み期間) お盆休業日(3日間)
12月	クリスマスパーティー 年末希望利用日(※ 8:00~18:00/お弁当持参) 年末年始休業日(5日間)
3月	遠足(お弁当持参) 次年度準備期間休業日(2日間)

8. 利用時間・料金について

費用内容	金額	備考
基本料金(月額)	20,000円	月~金曜(振替日を含む)、向日市立小学校の休校日を除く放課後~午後6:00までの利用
昼のおやつ代(月額)	1,500円	手作りまたは市販のおやつを用意します。
長期休業期間利用(1日)	500円	春期・夏季・冬季休業日において、午前8:00~午後6:00までの利用分。昼食代を含みます。
1時間延長(月額)	2,500円	18:00~19:00まで利用する場合。夕方のおやつをご用意します。
1時間延長(1日)	250円/30分	18:00~19:00まで利用する場合30分ごとに加算。夕方のおやつをご用意します。
土曜日の利用(1日)	1,000円	午前8:00~午後6:00までの利用分。昼食代を含みます。
お迎え住路のみ(月額)	8,000円	第4向陽小学校の1~3年生までの希望者には車でのお迎えを行います。

9. 年間行事

4月	歓迎会
7月	プール(長期休業期間:小学校夏休み期間)
8月	プール(長期休業期間:小学校夏休み期間) お盆休業日(3日間)
12月	クリスマスパーティー 年末希望利用日(※ 8:00~18:00/お弁当持参) 年末年始休業日(5日間)
3月	遠足(お弁当持参) 次年度準備期間休業日(2日間)

10. 年間会議予定

・職員会議:月2回程度

・もずめクラブ会議:月1回

11. 園内研修

ピラミッドメソッド幼児教育法 講師による園内研修を行い、保育の向上に努めます。
支援員資格の取得を計画的に進めていきます。

12. 園外研修

個人のスキル向上のため、積極的に園外研修を奨励していきます。キャリアパスに沿って新任・中堅・指導者研修を受講します。

13. ホームページ

ホームページを通じてもずめクラブでの様子を広報する。子ども達の写真や季節や文化を感じられるような取り組みの紹介及び情報提供。

メール配信により京都府警や向日市からのお知らせや感染症の予防連絡に役立てます。

<https://mozume.ooharano.com/>

14. 個人評価制度

職員の賞与支払い時に評価制度を利用して一部査定を行います。個々のやる気を引き出すための制度につなげていきたいと考えています。

15. 保護者支援

① 日常における支援

日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助する。また、匿名で要望内容等を連絡できるよう、玄関に意見箱を設置する。

② 家庭・学校との連携

学校・もずめクラブ・家庭での生活がブツ切れにならないように連携取り合い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助する。

16. 職員育成

- ・京都府主催の研修
- ・外部の講師による研修
- ・キャリアアップ研修
- ・その他必要に応じ外部研修に参加

17. 職員福利厚生

- ・福祉医療機構退職金共済加入
- ・京都府民間社会福祉施設職員共済会加入
- ・職員処遇改善費の支給

18. 施設設備計画

- ・防災設備、備品の確保
- ・園の周りの植栽整備
- ・園舎の定期清掃、美化

19. 資金計画※2023年度予算書参照。